

【編集元】民主党三重第2区総支部 衆議院議員中川正春事務所

E-mail: g03063@shugiin.go.jp

三重／〒513-0013 鈴鹿市国分町 453-7 TEL: 059-373-3933/FAX: 059-374-3088

東京／〒100-8981 千代田区永田町 2-2-1 衆議院第一議員会館 428 号室 TEL: 03-3508-7128/FAX: 03-3508-3428

○北朝鮮、拉致とミサイル

北朝鮮で、横田めぐみさんの夫、金英男氏と、母親、お姉さんの再会が、連日、テレビで報じられました。めぐみさんの存在を消し去ろうとする意図が北朝鮮に読み取れる中で、横田ご夫妻の切ないお気持ちが痛く伝わってきました。

併せて、韓国政府までもが、今回の母姉の北朝鮮訪問を、「拉致問題」とは捉えず「離散家族の再会事業の一環」だとしていることに、憤りを感じています。全てが、北朝鮮政府のシナリオどおりに進められた再会劇。なぜ、こうなるのかということです。

「韓国政府は、拉致問題を日本政府のように政治問題化してはならないと考えている。なぜなら韓国も、かつて軍事政権下には北朝鮮に工作員を送り、その国民を拉致して無理やり南に連れてきた可能性がある。証拠もある。北を拉致問題で責めれば、私たちも責められる。過去の責任は問わずに、現在の状況を改善させる交渉をすることが正しい。」先日、私が訪韓した際に、韓国の与党の安全保障政策責任者から出てきた言葉です。日韓の連携が、なんと難しいことか。

韓国や中国と、日米の足並みの乱れを、北朝鮮は今回のミサイル打ち上げでも再び突いてきています。「アメリカは、経済制裁を解いて核問題について北朝鮮との二国間協議に応ずるべきだ。」「日本は、拉致問題の終結をするべきだ。」「ミサイルで混乱させれば、韓国と中国がこうした北朝鮮の立場を代弁してくれるだろう、と北朝鮮は思い込んでいるふしがあります。

8月1日から民主党の議連の代表として、私も中国に行きます。「中国がいくら金正日体制の崩壊を恐れているからと言っても、それが北に核の保有を許し、多くの国民が人権を蹂躪され続けることを許容することの言い訳に使われてはならない。」金正日が今回のミサイル騒ぎのように軍部の暴走を自ら止めることができないとすれば、逆に、彼が、ちゃんとしたコントロールができる状況を作るため

には、私たちが何をしたらいいのか、ここは、冷静に考える必要がある。中国の指導者たちと、じっくり話し合っようと思っています。

○国民の声、あれこれ

三重県警の交通部に、「駐車違反の取締りが、荷物の積みおろしをする時など特に厳しすぎる。」との声が多いから、特別のステッカーなどで、取締りの特例の幅を広げられないかとお願ひしています。「今は、法律の運用を現場で工夫するから、もう少し様子を見て欲しい。」との答えだったのですが、私は、「運用」ということは、担当者の勝手な判断に任せることだからだめだと言っています。三重県式のルールを作ってはっきりさせることが大事だと条例化を促しました。

自閉症や学習障害、発達障害の問題について、関係の市町村や県にしっかりした政策体系を作ることをお願いしています。鈴鹿市は最近、基本計画を作ってきました。白子高校などを対象に養護学校の新設を検討していることが、県から報告がありました。学校でのいじめ、引きこもり、家庭内暴力などの問題では、その6割以上に、隠された要因として、この発達障害の問題があるといわれています。これに取り組むことで、多くの問題の解決の糸口が生まれます。

大矢知の産廃問題で、県が報告に来ました。現場の処理内容はともかく、コスト負担について「県が責任を持って対応することは約束している。しかし、四日市が中核市となって、産廃の処理を直接やり、県がその裏打ち負担をすることとした場合、四日市が不交付団体であるために、国の交付税を受けられない。だから、四日市は、中核都市になるべきではない。」と市を「指導」しているようです。産廃問題と中核市は次元の違う話。「産廃で補助金がもらえなくなるから、中核市にならない。」などと、市長が市民に対して説明できる話ではないから、もっと知恵を出せと言っています。